

廃棄物減量等推進員 アンケート結果概要

※本資料は概要版のため、いただいたすべてのご意見が掲載されているわけではありません。
アンケートの全編(詳細版)をご希望の方は、担当までお問い合わせください。

1 背景・目的

推進員の皆様には、町と地域とを繋ぐパイプ役として、分別の徹底、集積所の管理、住民への協力要請など、多岐にわたる活動をお願いしています。活動の中で負担を感じたり、課題を抱えたりするとの声をいただくことがあります。

町では、推進員制度をより実効性のあるものとするため、制度の再整理を検討しており、現在の活動状況や課題、改善に向けたご意見・ご要望を伺うためアンケートを行いました。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 令和7年度廃棄物減量等推進員 113名
- (2) 調査期間 令和8年2月13日(金)から3月2日(月)
- (3) 依頼方法 通知を郵送
- (4) 回答方法 紙回答(返信用封筒使用)

3 結果

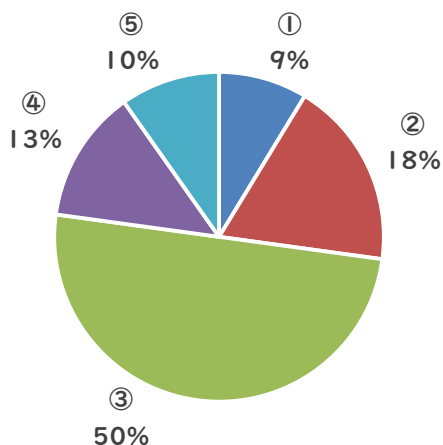
総回答数:90名 (回収率約80%)

I 自治会(町内会)内での状況について

設問1

あなたが廃棄物減量等推進員に選ばれた経緯を教えてください。

①自ら希望した	8
②地区の中で推薦された	17
③輪番で順番が回ってきた	46
④後任者がいないため継続した	12
⑤その他	9



【その他の意見】

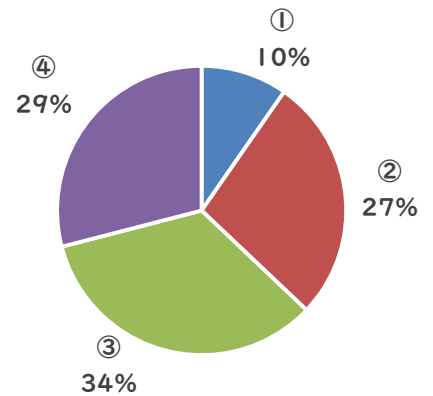
- ・自治会の役員になった(5) ※
 - ・区長が兼ねる
- ※()内は意見数

●自ら希望した方は少なく、推進員の半数が輪番で引き受けている状況です。

設問2 (同じ自治会・町内会内に複数の推進員がいる場合)

推進員同士で情報交換はありますか。情報交換がある場合、情報交換の手段や内容も教えてください。

①定期的にある	6
②必要な時にある	17
③ほとんどない	21
④ない	18



※同じ自治会に複数人の推進員がいる方の回答のみを集計

【情報交換の手段】

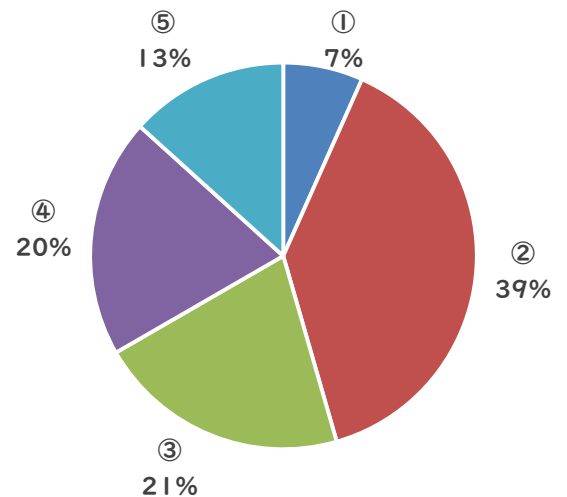
- ・役員会での打ち合わせ等(12)
- ・必要な時に電話や直接(6)

- 現場で問題が発生した際には、電話や直接の対話、役員会等を通じて、必要な時に、必要な情報を、柔軟に共有している状況です。日常的な見回りや年末年始の共同作業など、具体的な課題を前にしたときには協力体制をとる地区もあります。

設問3

自治会(町内会)内の集まりなどで、ごみに関する報告・課題共有・相談等を行っていますか。

①定期的に行っている	6
②必要な時にしている	35
③ほとんどしていない	19
④していない	18
⑤集まりがない	12



- 必要な時に報告するという人が多いものの、ごみについて話し合う地域の集まりはほとんどない状況です。ごみの問題を共有・解決しようという動きにはなりにくい状態だと考えられます。

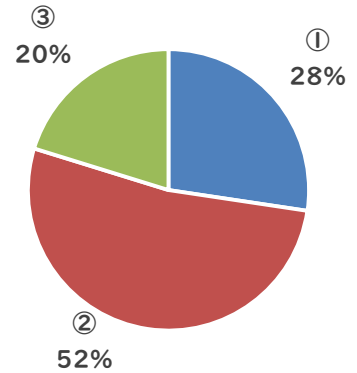
設問4

自治会(町内会)内で、推進員以外にごみに関する役割を担っている方はいますか。いる場合、どのような取り組みをしていますか。

①いる	23
②いない	44
③わからない	17

【取り組み内容】

- ・ごみ置き場の掃除当番(5)

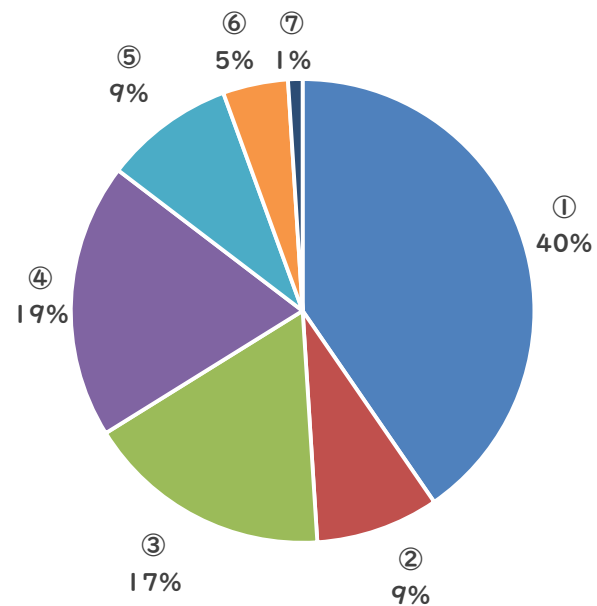


II 推進員の業務について

設問1 ※複数選択可

あなたが推進員として行っている活動について教えてください。

①集積所の巡回	80
②ごみの分別や出し方の指導・広報	17
③残されたごみの再分別	34
④残されたごみへの貼り紙や役場への連絡	38
⑤ごみ集積所の清掃	18
⑥ごみ集積所環境整備補助金の申請	9
⑦その他	2



【その他】

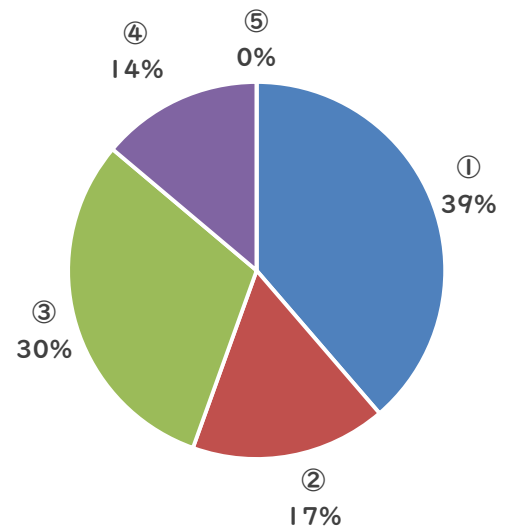
- ・ルール違反の粗大ごみなど苦情等がある場合は対応する
- ・役場の環境資源課との情報交換など
- ・ごみのネット購入やごみの分別の掲示板づくり

●推進員は「指導・広報」よりも「現場の清掃や残ったごみへの対応」に力を入れている状況です。

設問2 ※複数選択可

推進員の業務について、なにに基づいて活動していますか。

①推進員の手引き	53
②町職員による研修会	23
③前任者からの引継ぎ	42
④地区内のルール	19
⑤その他	0

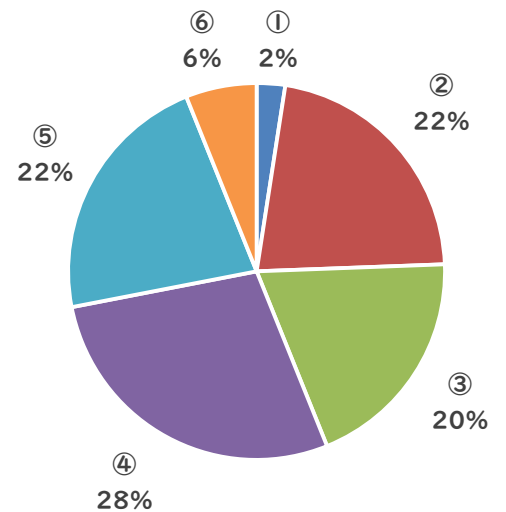


●町が配布する資料だけでなく、「前任者からの引継ぎ」や「地区の慣習」が活動の基となっています。

設問3 (設問2で「①集積所の巡回」と回答した方へ)

集積所の巡回頻度は大体どのくらいですか。

①毎日	2
②週に2~3回	18
③週に1回	16
④月に2~3回	23
⑤月に1回	18
⑥その他	5



【その他】

- ・ごみの回収がある日(3)
- ・散歩の時にチェックをしている
- ・最初の数か月は週一で行っていたが担当地域はきれいに整えられていたので巡回頻度を減らした

設問4 (自由記述)

ごみ集積所の巡回中に意識していること・お困りのことはありますか。

【意識】

- ・残されているごみがないか(9)
- ・ごみの散乱、カラスによる被害、清掃状況(7)
- ・分別されているか(7)
- ・回収日を間違えていないか(5)
- ・資源の持ち去り(5)
- ・他地域からの持ち込みがないか(3)
- ・ネットや看板が壊れていないか気を付けている(2)

【困りごと】

- ・ルールが守られていないごみが残される、地区外からのごみ(10)
- ・アパートの集積所の状態が悪い(4)
- ・車の通りが多く狭い道や冬の寒い時、夏の暑い時にごみを持って移動するお年寄りは大変だと感じる
- ・新聞等の資源をワゴン車で堂々と持ち去る

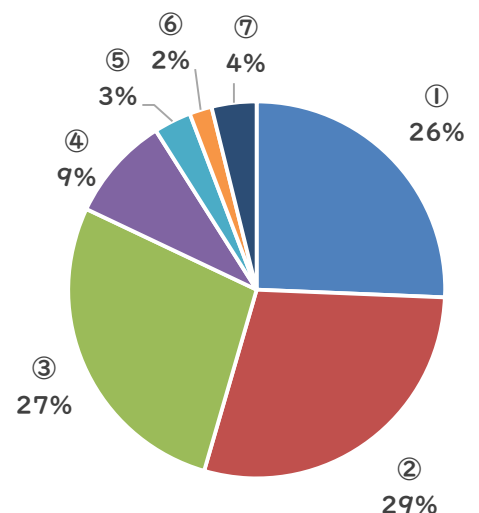
- 集積所にごみが残されていないか「清潔な集積所の維持」を考えながら見回っています。ルール(ごみの分別、収集日、収集時間)が守られていないごみや他地区からの持ち込みが多いです。

ごみ集積所の管理は主に利用者が行うこととなっています。

設問5 ※複数回答可

ごみ集積所に残されたごみに対して、主に誰が対応していますか。

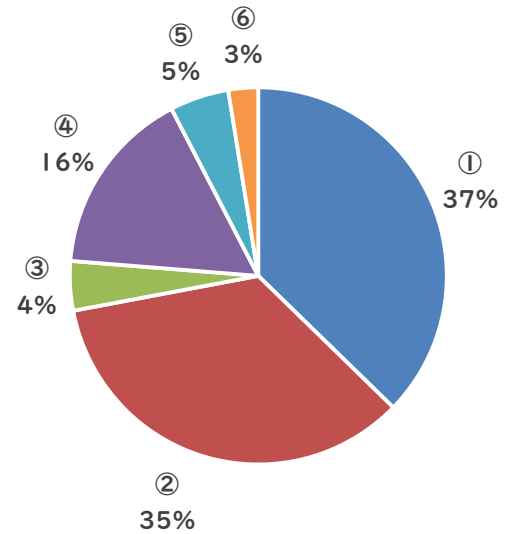
①推進員	40
②ごみ当番	45
③利用者	32
④発見者	14
⑤わからない	5
⑥対応していない	3
⑦その他	6



設問6（設問5で「①～④・⑦」と回答した方へ）※複数選択可

設問5で選択した①～④・⑦の方は、ごみ集積所に残されたごみに対してどう対応していますか。

①正しい方法で出し直す	44
②貼り紙を貼って、出した人に正しい出し方を呼び掛ける	41
③出した人を探し、正しい出し方を呼び掛ける	5
④役場へ連絡する	19
⑤対応について把握していない	6
⑥その他	3



【その他】

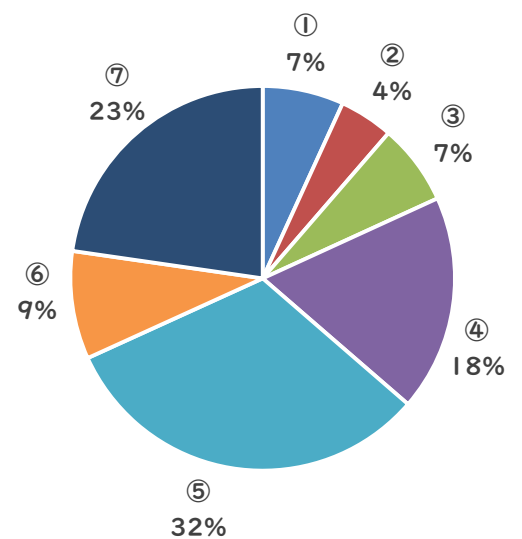
- ・ほとんど置き去りにされたごみがなかった
- ・本人が気づいて引き取る
- ・アパートが多い為、その都度オーナーに連絡する
- ・貼り紙に正しい出し方をつけ加えた

●推進員等自身が再分別を行ったり、排出者に再分別するよう呼び掛けたりしている状況です。

設問7（設問5で「①推進員」と回答した方へ）

集積所に残されたごみへの対応頻度はどれくらいですか。

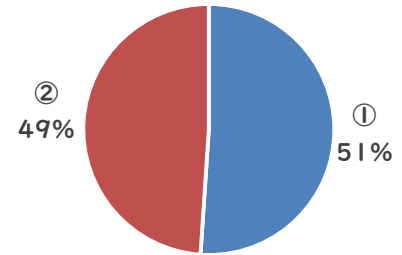
①毎日	3
②週に2～3回	2
③週に1回	3
④月に2～3回	8
⑤月に1回	14
⑥特に対応していない	4
⑦その他	10



設問8

残されたごみは、貼り紙をして役場へ連絡すると1週間程度で収集されるという、いわゆる「1週間ルール」を知っていますか。

①知っている	47
②知らない	45

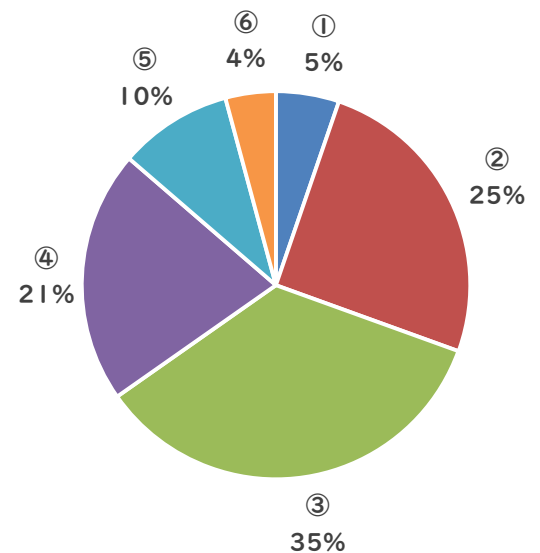


●1週間ルールの認知度は50%程度で、ルールが現場に浸透しきれていない状況です。

設問9

あなたの地区では、ごみ集積所環境整備補助金※を積極的に活用していますか。

①大いに活用している	5
②活用している	24
③活用していない	33
④わからない	20
⑤補助金制度があることを知らない	9
⑥その他	4



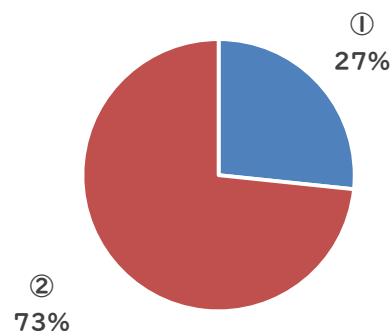
●制度を知らない・使っていない人が多く、有効活用されていません。

※ごみ集積所の維持管理に伴う物品購入等に係る費用について、半額(上限3,000円)を補助する制度です。2年度に1回申請することができます。

設問10

推進員の方に町がお知らせしているごみに関する情報(研修会の内容や推進員ニュース等)について、地区内で共有していますか。

①している	24
②していない	66



設問11 (設問10で「①している」と回答した方へ)

どのような方法で共有していますか。

【方法】

- ・回覧(19)
- ・掲示(3)
- ・役員会等でお知らせ(4)
- ・自治会だよりや新聞(3)

設問12 (設問10で「②していない」と回答した方へ)

共有していない理由をお聞かせください。

【理由】

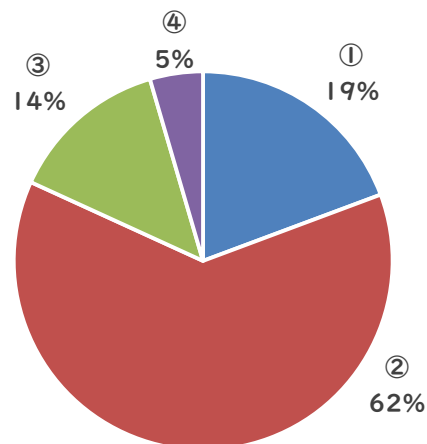
- ・共有する場がない(19)
- ・共有の方法がわからない(13)
- ・手元に一部しかない・資料がない(9)
- ・回覧できる量・部数が足りない(3)
- ・前例がない(2)
- ・共有するという指示がなかった(4)
- ・仕事があり時間が取れない
- ・町広報等があるため不要と判断した

- 共有するための仕組み(場・方法)が不足しています。町からの指示が明確でない・方法がわからない・共有するための資料が足りないという意見が目立ちます。

設問13

年3回(8月・12月・4月)提出いただいている業務報告書の項目や内容についてどう思いますか。理由やご意見もお聞かせください。

①満足	17
②だいたい満足している	55
③あまり満足していない	12
④不満足	4



【理由】

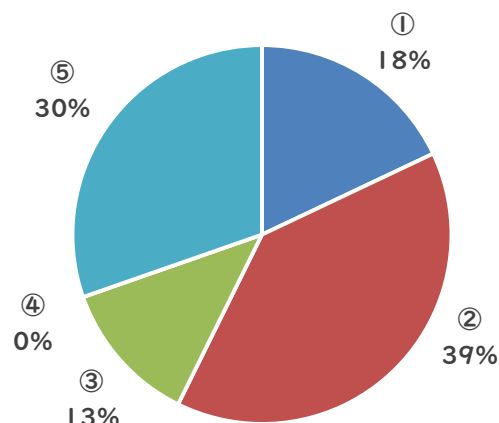
- ・枠が狭い、余白が足りない、書きにくい(7)
- ・今の報告書のままでよい(7)
- ・報告書した内容についてのフィードバックがない(4)
- ・報告書作成作業に時間と手間がかかっており、負担が大きい(2)
- ・放置ごみが「その後どう処置されたか(持ち帰ったのか・町に連絡したか)」を記入する欄がほしい。

●報告書の負担が大きいと感じる人と、もっと書きたいと感じる人がいます。フィードバックを求める声が多いです。

設問14

推進員と町との関係性についてどう思いますか。理由もお聞かせください。

①満足	16
②だいたい満足している	35
③あまり満足していない	11
④不満足	0
⑤よくわからない	27



【理由】

- ・わからないことは丁寧に教えてもらえ、満足している(8)
- ・アパートオーナーへの連絡や、回収忘れ時の対応など、具体的な介入によって問題が解決した(3)
- ・推進員の存在意義がわからない(3)
- ・仕事との両立が難しい、説明会に出席できない(4)
- ・他地区の推進員や町と情報交換できる機会がほしい(3)
- ・報告書以外のアンケートや意見書のような提出手段もあってよい

設問15（自由記述）

推進員の活動を通して、率直なご意見ご感想をお聞かせください。

（活動の支障となっていること、やりがいを感じたこと、活動の内容・量等）

【ご意見】

- ・廃棄物減量等の必要性に対する意識・認識が高まり、大きなやりがいも感じている（3）
- ・貼り紙をしたことで、分別していただけるようになった
- ・地域住民の意識が高く、当番制がうまく機能しているため問題ない（4）
- ・日中働いているため、活動時間に限りがある（12）
- ・どこまで関与してよいか不明（3）
- ・後任が見つからない
- ・制度の認知度が低いので見直しが必要
- ・自治会加入者だけが推進員を担う不公平感、自治会推薦制度そのものへの疑問（4）
- ・あまり推進員の意味がないのでは
- ・ルールを守らない世帯への指導が難しい（2）
- ・若い年代の方や子育て中の方には無理があると思う
- ・残されるごみの量が多いことにびっくりし負担に感じた
- ・他地区推進員との交流や研修（施設見学等）の機会を増やしてほしい（4）
- ・ごみ分別が不十分で火災が起きたこともあったと知り、活動の一端に関わってよかったと思う
- ・ひとりひとりのごみ出しの意識と協力が非常に大事だと思った
- ・久喜市の新ごみ処理施設の始動に伴い、次期推進員さんの活躍を期待いたします

その他たくさんのご意見をいただきました。

- 町職員の個別対応は評価されている一方、制度そのものの目的や運用に対する疑問の声が上がっています。個人の生活スタイルや自治会加入状況の変化に、現在の制度が追いついていない状況です。